

## JENESYS2017 招へいプログラム第 10 陣の記録

対象国・地域：ASEAN10 か国，東ティモール及びチャイニーズタイペイ  
テーマ：(文化)文化交流(アジア国際子ども映画祭)

### 1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として，ASEAN10 か国，東ティモール及びチャイニーズタイペイより高校生を中心とした青少年等 114 名が，2017 年 11 月 21 日～11 月 29 日の日程で来日し，「文化交流(アジア国際子ども映画祭)」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は，北海道北見市での雪を含む大自然を満喫し，第 11 回アジア国際子ども映画祭本選大会に出席し，全 12 の賞のうち 6 つの賞を本訪日団が受賞しました。北見市では，全参加国・地域の作品を互いに鑑賞し，都内ではテーマ関連学校への視察も行いました。

映画祭に関するプログラムのほか，歴史的建造物や先端技術の施設見学を通じて幅広く日本を理解し，様々な体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また，帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)についてグループ毎に映像などを用いて発表しました。

#### 【参加者・人数】

114 名(インドネシア 10 名，カンボジア 10 名，シンガポール 10 名，タイ 10 名，チャイニーズタイペイ 10 名，東ティモール 10 名，フィリピン 10 名，ブルネイ 7 名，ベトナム 9 名，マレーシア 10 名，ミャンマー 8 名，ラオス 10 名 ※50 音順)

#### 【訪問地】

東京都，北海道

### 2. 日程

- |              |   |
|--------------|---|
| 11 月 21 日(火) | 来日<br>【オリエンテーション】   |
| 11 月 22 日(水) | 都内から北海道へ移動<br>【環境関連施設視察】オホーツク流水館  |
| 11 月 23 日(木) | 【ウェルカムセレモニー】北見市<br>【映画祭関連イベント】映画祭作品視聴会<br>【地域産業・企業視察】北見ハッカ記念館   |
| 11 月 24 日(金) | 【環境関連施設視察】温根湯「北の大地の水族館(山の水族館)」・<br>「果夢林の館」<br>【学校交流】7 グループに分かれ高等学校・専門学校・大学と交流<br>①北見北斗高等学校(タイ，チャイニーズタイペイ) |

- ②北見藤女子高等学校（シンガポール，フィリピン）
  - ③北見美容専門学校（カンボジア，ミャンマー）
  - ④北見情報ビジネス専門学校 ・オホーツク社会福祉専門学校（インドネシア）
  - ⑤日本赤十字北海道看護大学（マレーシア，ブルネイ）
  - ⑥国立大学法人北見工業大学（東ティモール，ベトナム）
  - ⑦北海道留辺蘂高等学校（ラオス）
- 【映画祭記念イベント】国内参加者との交流夕食会
- 11月25日(土) 【映画祭記念イベント】オホーツク国際ふれあい広場  
【映画祭】アジア国際子ども映画祭（授賞式）  
【映画祭記念イベント】交流会（アフターパーティ）
- 11月26日(日) 【ワークショップ】  
【報告会】
- 11月27日(月) 地方から都内へ移動（チャイニーズタイペイは離日）
- 11月28日(火) 【歴史的建造物等視察】浅草  
【テーマ関連施設視察】日本映画大学，東京ビジュアルアーツ
- 11月29日(水) 離日

### 3. プログラム記録写真

	
<p>11/22 【環境関連施設視察】オホーツク流水館</p>	<p>11/23 【ウェルカムセレモニー】北見市</p>
	
<p>11/23 【映画祭関連イベント】映画祭作品視聴会</p>	<p>11/24 【環境関連施設視察】温根湯「北の大地の水族館（山の水族館）」</p>

	
<p>11/24【学校交流】日本赤十字北海道看護大学</p>	<p>11/25【映画祭記念イベント】オホーツク国際ふれあい広場</p>
	
<p>11/25【映画祭】アジア国際子ども映画祭（授賞式）</p>	<p>11/26【報告会】</p>

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆インドネシア 学生

一番印象に残ったのは、学校交流プログラムでした。実習はとても分かりやすく、生徒のみなさんと一緒にゲームや日本特有の楽器、大正琴の演奏を楽しみました。また、歯科衛生の実習では、歯ではなく指の型を石膏で固める模型作りを体験しました。

北見では、インドネシアでは見られない雪に触れられとても感動しました。日本はどこもきれいで清潔に保たれていて、街並みや公共交通機関もとても整っていることがとても印象的でした。車の運転手は誰もが歩行者優先を考え、安全走行を行っていて感心しました。

##### ◆カンボジア 学生

日本に来る前、日本といえばすぐに「寿司」が頭の中をよぎりましたが、今回の視察を通して日本には「寿司」以上にたくさんの素晴らしいものがあると分かりました。日本人は、本当に親切な人々だと感じました。また、日本人は時間に大きな価値を置いていることにとても感心しました。北見市では初めて雪を見ました。私の人生にとって忘れることのできない貴重な経験となりました。

オホーツク流氷館では、自然の素晴らしさを知ることが出来ました。北見市からはとても温かい歓迎を受けました。私たちは、今回築いた様々な国の友人たちとの友情を続けていきます。JENESYS プログラムは、私たちに経験・友情・楽しさ・良き思い出をもたらしてくれるプログラムなのだと思います。

#### ◆シンガポール 学生

学校交流での茶道と書道のプログラムはとても印象に残るものでした。なぜなら、このような伝統文化は他の国、特に先進国では徐々に消えていっているからです。私が育った文化では、お辞儀や膝を立てることは家の恥になるため決してしてはいけないことでしたが、日本ではお辞儀や正座はごく当たり前のことであり、尊敬の念を表すものです。尊敬するという気持ちを日本人は大切にします。この尊敬と思いやりの気持ちにとっても感動しました。日本のことや日本人が礼儀正しいことはもちろん知っていましたが、どんな小さなことにも礼儀正しく、民族や宗教に関係なく全ての人に気遣いする姿に驚きました。コインランドリーの使い方や遠くのトイレの行き方まで、いつでもどこでも困っていると助けてくれました。日本人にとっては当たり前のことだとは思いますが、他人を尊敬する国だからだと思えます。感謝の気持ちというのは学校や慈善活動で取り上げられるものだと思っていましたが、日本では当たり前実践されていました。

#### ◆タイ 学生

今回の訪日は言葉で説明できないほど感動しました。すべてがあっという間に過ぎ去りました。このプログラムに参加した誰と話をしても良い感想ばかりでした。北海道の気候はとても寒かったのですが、人々の温かさに触れることが出来ました。書道を教えてくれた日本人学生はとてもフレンドリーでした。一緒にいる時間も少なく、また、言葉の壁もありましたが、私たちの友情や思い出はずっと心の中に残ると思います。新しい土地、異なる文化、みんなの笑顔、このプログラムで経験した全てのことが良き思い出となりました。

#### ◆チャイニーズタイペイ 学生

今回の活動で一番印象深かったのは、北見北斗高等学校への訪問です。最初から最後まで一対一で交流することができたので、日本の学生のことを深く理解することが出来ました。時間は長くはありませんでしたが、今後も連絡を取り合い、日本文化や日本人のことをもっと理解できるようになりたいと思います。

#### ◆東ティモール 学生

日本人が礼儀正しく、周りの人へ敬意を持って接している姿を見て、日本が好きになりました。今回の交流で自分の国がこのプログラムに参加できたことを誇りに思います。自分の国の文化を他の人と共有することは、異なる文化について聞いて、学ぶことと同じくらいに本当に素晴らしいことです。私は自分の夢であった、伝統的な着物を着ることができ、また、居合の型を見ることができて、とても幸せでした。自分の経験を東ティモールで共有したいと思います。

#### ◆フィリピン 学生

初日から今まで、常に新しい事を学ぶことができました。このプログラムに参加できてとても光栄です。学校交流はとても楽しかったです。学校では、学んだ日本語を使うことはもちろん、新しい友だちに会い、理解することができました。交流会では、自分の殻を飛び出し自信をもって他の国から来た友人と交流することができ、楽しむことができました。いつも日本に来ることを夢見ていたのに、今でも日本にいたことが信じられません。

#### ◆ブルネイ 学生

プログラム中の全ての経験が本当に素晴らしいものでした。どこに行ってもとても歓迎されていると感じ、どの瞬間も楽しむことができました。特に、学生たちとの交流がプログラムの中で一番良かったです。アジア各国の友達がたくさんでき、社会性を学ぶことができました。また、基本的な日本語を身に付けることもできました。文化交流の場では、文化、音楽、民族衣装などを通して各国の違いを知ることができました。

#### ◆ベトナム 学生

今回、自分が作った作品がノミネートされた事で、映画祭に参加する事ができましたが、JENESYS プログラムに参加したことで、様々なことを学ぶことができました。賞を貰うために日本に来られただけでなく、それ以上に、私の人生において貴重な機会を頂きました。たくさんのアジア各国の友達と交流ができ、また、北見市の素晴らしい自然や風景を見ることができて本当に良かったです。交流プログラムでは、たくさんの日本人の友達と知り合うことができました。

#### ◆マレーシア 学生

最も思い出深いことは、自国の文化をとてと尊び、他国の人たちへ紹介するという日本人の行為です。餅つきはとても魅力的で、日本人がいかに日本文化とともに生活しているかを知ることができました。餅を杵でつく時の掛け声は、全員が一体となって餅をつくためのメロディーの様でした。また、忘れられないことは、雪を見ることができたことです。私たちのチームは、雪を見て、触り、寒さを体感することができてとても幸せでした。日本映画大学では映画制作について知識を得ることができました。ここでもっと映画制作について学びたいという希望が生まれました。

#### ◆ミャンマー 学生

日本のハッカ生産、相手へ尊敬の気持ちを示す茶道、丁寧な着物の着付けなど、たくさんの体験ができました。日本では、小学生でさえ合唱祭に参加し、演奏していることに驚きました。しかもとても上手でした。日本の学校はとても興味深かったです。講義に実習を重ねていて、素晴らしい人材をたくさん育成しています。学校交流では、北見美容専門学校と東京ビジュアルアーツを訪問しましたが、どちらも興味深く、通いたいと感じる憧れの学校でした。将来は、留学生として、もう一度日本に来たいと思います。友達にも今回の経験を共有し、日本に行くことを薦めたいと思います。

#### ◆ラオス 学生

学校交流では、社会福祉の授業の一環として高齢者に扮し、高齢者の生活体験ができました。また日本人がどのように勉強をしているかを見ることができました。普段会うことのできない北見市長にお会いし、記念品の交換もでき嬉しかったです。私達と同じように他の国のみんなも真剣に団結して映画を作り上げていました。たくさんの素晴らしい作品を見ることが出来てよかったです。

## 5. 受入れ側の感想

### ◆ 受入れ学校関係者

皆さんとても熱心で積極的でした。そのことに刺激され、本学学生も言葉の壁を越えて一生懸命対応しており、コミュニケーションの大切さを改めて認識できたと思います。プログラムが終了しても名残惜しそうに、たくさん写真を撮ったりして笑顔いっぱいだったことが印象的でした。

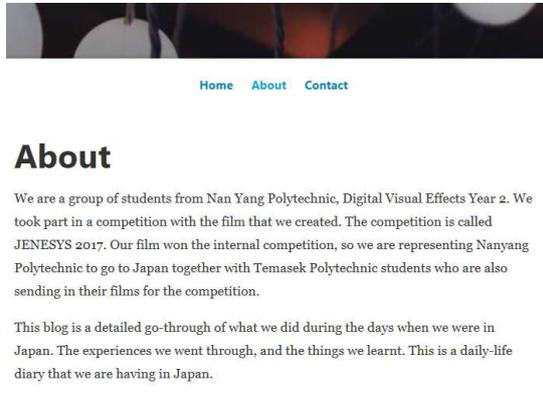
### ◆ 受入れ学校関係者

接客業（美容師）という仕事柄、コミュニケーションの取り方は言葉だけでなく表情やジェスチャー、アイコンタクトも大切だということが実感できたように思います。何とか相手に伝えようとする気持ちがあればこそお互いを感じ取ることができたようです。貴重な体験ができて良かったです。

### ◆ 交流会参加学生

国際交流は初めてでしたが、同じアジア人なので大丈夫だろうと思っていましたが、いざ対面してみると緊張してしまいました。しかし、彼らは笑顔で接してくれてとても礼儀正しかったです。日本人は礼儀正しいと国際的に言われていますが、他の国には日本人よりも礼儀正しく素晴らしい人たちがたくさんいると感じました。

## 6. 参加者の対外発信

 <p>The image shows a Facebook post from the user 'mrwinataa'. The post features a photograph of a traditional Japanese building with a large tree in the foreground. The text of the post includes the following details: 'mrwinataa fly', 'Japan', 'Asakusa temple', 'Asakusa', '#JENESYS2017', '#japanjenesysthrowback', '#indonesia', and 'Photograph By: @fridazizah kitarodesmonda Raje an ngono e'. There are also icons for likes and comments, and a 'フォローする' (Follow) button.</p>	 <p>The image is a screenshot of a website's 'About' page. At the top, there are navigation links for 'Home', 'About', and 'Contact'. The main heading is 'About'. The text below reads: 'We are a group of students from Nan Yang Polytechnic, Digital Visual Effects Year 2. We took part in a competition with the film that we created. The competition is called JENESYS 2017. Our film won the internal competition, so we are representing Nanyang Polytechnic to go to Japan together with Temasek Polytechnic students who are also sending in their films for the competition.' Below this, it says: 'This blog is a detailed go-through of what we did during the days when we were in Japan. The experiences we went through, and the things we learnt. This is a daily-life diary that we are having in Japan.'</p>
<p>(インドネシア)浅草についての発信 (Facebook) 日本 浅草のお寺</p>	<p>(シンガポール)プログラムについての発信 (ブログ) このブログは私たちの日本での日々をつづったものです。私たちが経験したこと、学んだこと。</p>



(タイ)プログラムについての発信 (Facebook)

レースでもなく、ただの旅でもなく、これは文化交流です。日本での初めての体験。この旅の全てに感謝しています。



(フィリピン)プログラム5日目についての発信 (Facebook)

日本人学生と交流し、日本文化を学び、最後には茶道を体験しました。



(ベトナム)東京についての発信 (Facebook)

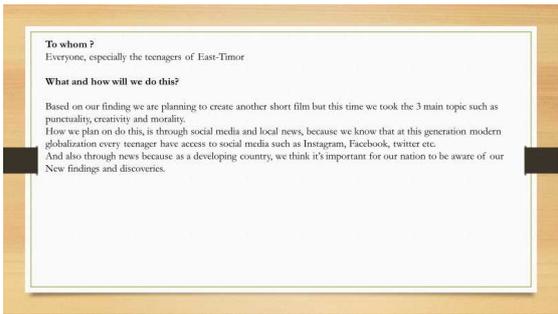
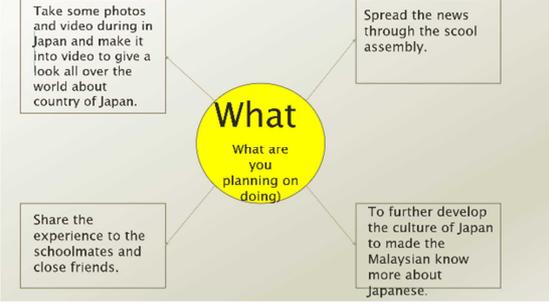
東京とわたしたち。日本人の自転車のマナーが素晴らしい！



(ミャンマー)文化交流についての発信 (Facebook)

日本の伝統である茶道体験

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	<p><b>2</b></p> <p>After the program, we'll be making a vlog that would summarize the experiences from the program.</p> 
<p><b>アクション・プランの発表 1 (東ティモール)</b>          今回発見したことの中で、時間厳守、創造すること、モラルの3つのテーマに絞り、ショートフィルムを作成し、SNS や地域ニュースを通じて発信する。</p>	<p><b>アクション・プランの発表 2 (フィリピン)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ビデオブログを作り、今回経験したことをまとめて記事にする。</li> <li>2) JENESYS プログラムへの参加方法についてのビデオを作成する。</li> <li>3) 各学校で経験談を共有するとともに、作成したビデオブログや JENESYS プログラムへの参加方法についてのビデオを上映する。</li> </ol>
	
<p><b>アクション・プランの発表 3 (ベトナム)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 会議を開催する</li> <li>2) 公開用の Facebook ページを作成し、日本での写真や情報を掲載する</li> <li>3) 家族や友人に体験談を話す</li> <li>4) 活動の進捗状況をフォローする</li> </ol>	<p><b>アクション・プランの発表 4 (マレーシア)</b>          日本滞在中の経験や発見を友人や家族、地域コミュニティに発信する          方法：学校の全校集会やイベント、SNS を利用、家族集会など</p>